

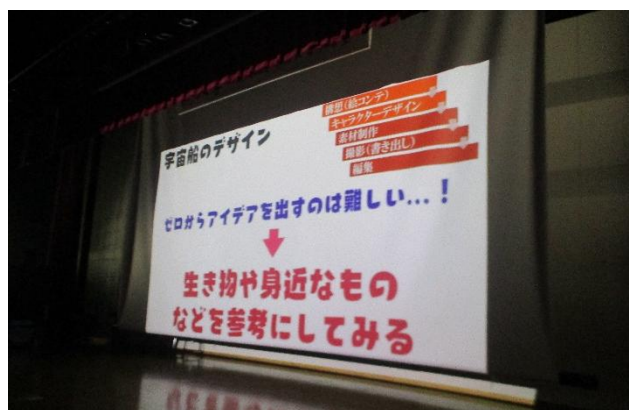
5月28日「探究の時間」に妙高戸隠連山国立公園のアクティブレングジャー（自然保護官の補佐役として、国立公園等のパトロール、調査、利用者指導、自然解説などの業務を担う環境省の職員です）の方から「国立公園の特徴や自然保護の意味」についての話をお聞きしました。参加した生徒たちは、自分たちでもできる自然保護活動について知り、身近な地域の自然に関心を高めていました。



【生徒の感想より】

- ・ 自然の植物や動物が住むために自然を守る必要があって、その自然を守るためには、地域のイベントに参加するだけでも保護活動になることが分かった。
- ・ 身近にこんなに自然を気にかけてくれている人がいることを知らなかったので、自然は大切だし守っていくことが大切だということを改めて学びました。

後半は、本校の美術の先生がライフワークとして取り組んでいる探究活動の「動画制作」について、自分の作品の制作過程をもとに説明してくれました。生徒たちは、先生の作った作品の完成度の高さに驚いていました。



【生徒の感想】

- ・ 僕は編集に興味があるのでとてもためになりました。動画を作るときの手順や工夫がわかりました。探究の時間では編集関係をやろうと思いました。
- ・ オリジナルのガンダムを作った後リアル感を出すために動かしてみたいと思っていたのですごく参考になりました。まだ不安なことがあるので先生たちのお話なんかも気になっています。」